

## 事例 至誠コミホーム（憩いの場活動）

至誠学舎立川（東京都） 〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-18-18 TEL 042-527-9553

### 活動の概要

地域住民よりご遺贈いただいた民家を一部改修し、家庭に引きこもりがちな高齢者をはじめとした地域住民の憩いの場として開放しています。

多くのボランティアの協力を得て、お茶のみ場、趣味活動の場、異世代交流の場として運営をしています。

### 法人の概要

社会福祉法人至誠学舎立川は、明治45年、司法少年保護団体として設立されました。

昭和17年財団法人へ、戦後社会福祉法人への組織変更を経て、「誠の心」を理念として、児童福祉・高齢者福祉・乳幼児保育等、様々な福祉活動を行っています。

至誠コミホームを運営するのは、高齢者福祉部門の至誠ホームです。

至誠ホームは昭和26年に養護老人ホームを設立以来、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、ケアハウス、各種在宅サービスを立川市を中心に提供しています。

生活施設としても在宅サービスの拠点としても、高齢者及びその家族の生活を支援する総合的サービスの提供に日々努めています。

- 経営施設数…18
- 法人の年間事業収入…1,800,000千円（高齢者福祉部門）
- 主な経営施設
  - 軽費老人ホーム 昭和38年設立 定員50名
  - 特別養護老人ホーム（従来型）  
昭和52年設立 定員150名
  - 特別養護老人ホーム（ユニット型）  
平成12年設立 定員70名
  - ケアハウス 平成15年設立 定員50名

### 活動の内容

- 活動対象者…地域在住高齢者
- 活動の頻度…月22日程度、1回当たり6時間
- 年間延利用者数…2,071名
- 活動開始年…平成13年

#### ■活動開始の背景（取り組みの経緯）

ご寄贈者の遺志により、地域在住高齢者のために運営することとし、法人として、介護保険では担いきれない面をカバーするとともに、誰もが気軽に立ち寄ることのできる憩いの場として開放することとなりました。また、介護予防を目的とした様々な活動を企画しました。

運営は、ボランティアが中心となり、地域民生委員とで構成する「コミホーム運営委員会」を設置し、活動の企画等にかかわることで、より地域に密着した場を目指しました。

#### ■人材・資金面等での工夫、苦慮

至誠コミホームには、非常勤職員が1名常駐しています。ただし活動にあたっては、地域ボランティアが中心となり、職員は側面からサポートするかたちを取っています。

利用者については、気軽に立ち寄れる場ということから利用料の徴収はしていません。ただ

## 1. 地域ニーズへの対応

(2) 個別ニーズに対応した柔軟なサービス提供

し、季節行事等にかかる材料費等の実費をいただく場合があります。独自の会計とはせず、改修をはじめとした経費はほぼ全額法人の持ち出しとなっています。

事業運営については過去2年間、助成団体からの助成金で行っています。法人の思いと事業運営上の資金調達方法との兼ね合いが今後の課題といえます。

### ■利用者の声、地域の反応

地域民生委員、ボランティアを中心としたPR活動により、コミホームの存在が地域に広がりを見せ、利用者も増加傾向です。ただお茶を飲むだけの方から趣味活動に参加する方まで、その利用法は様々ですが、「ここへ来るのが楽しみ」や「家にいても人と話すことが無くさみしいので助かる」といった声が多くなってきています。また、地域の小学校との交流も活発であり、地域密着の新しい場として、反応も良いようです。



民家を改修して、いこいの場活動を行っています。

### 活動の成果、地域の影響、今後の課題

憩いの場、介護予防の場として地域からも期待をされています。利用者からも活動内容について様々な要望も出始めており、地域密着の場として機能してきています。

今後は事業運営についての助成金の確保を始め、利用者にはできるだけ負担をかけず、いかに必要資金を調達していくのかが大きな課題といえます。



様々な趣味活動を行っています。(写真は籐編み教室)